

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	生物統計学概論			授業形態	講義		
科目担当者	山崎 力、桜井 亮太						
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	必修	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	実際の臨床・疫学研究を題材に生物統計学を基礎から講義する。医学研究で得られる様々なデータの種類や分布の特徴を理解し、適切なデータの要約やグラフ表示の方法を学ぶ。推定(信頼区間)と仮説検定の概念を理解するほか、2群比較の方法とその際の共変量の調整方法やサンプルサイズの設定、相関や回帰、多群比較および多重性の調整について学ぶ。						
授業の到達目標	1. 臨床試験をはじめ、医学研究における統計学と疫学方法論の基礎を理解する 2. 統計解析手法の基礎知識を習得する						
回数	授業計画(内容)						担当
1	イントロダクション(4/10)						桜井 亮太
2	データの種類(4/17)						桜井 亮太
3	データの要約とグラフ(4/24)						桜井 亮太
4	統計的推定と仮説検定(5/8)						桜井 亮太
5	群間の比較(5/15)						桜井 亮太
6	相関、回帰、分散(5/22)						桜井 亮太
7	重回帰とロジスティック回帰(5/29)						桜井 亮太
8	生存時間と群間比較(6/5)						山崎 力
9	サンプルサイズの設定(6/12)						山崎 力
10	多群比較と多重性の調整(6/19)						山崎 力
11	共変量調整の手法1(6/26)						山崎 力
12	共変量調整の手法2(7/3)						山崎 力
13	生存時間分析の共変量調整(7/10)						山崎 力
14	経時データ解析の手法(7/17)						山崎 力
15	まとめ(7/24)						山崎 力
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()						
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学概論	授業形態	講義					
科目担当者	横山和仁、清水沙友里(医療経済研究機構)							
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	疫学の定義、因果関係の立証法、疫学研究の倫理指針から、記述疫学研究と仮説検証研究(観察研究と介入研究)の違いといった研究の分類を学ぶ。観察研究では横断研究、縦断研究(コホート研究、症例対照研究)における疫学指標、各種バイアス、研究デザイン上の特徴について学ぶほか、介入研究では無作為化比較試験を含む患者臨床試験についてその構造や疫学指標について、システムティックレビュー、メタアナリシスについてもその構造や問題となる各種バイアスについて学ぶ。							
授業の到達目標	1. 科学的な思考方法の基礎となり、合理的な意思決定に必須の疫学の考え方を修得する。 2. 各種疫学研究の技法を修得し、研究論文の批判的吟味と研究計画立案の方法を理解する。							
回数	授業計画(内容)							担当
1	医学と疫学							清水沙友里(非常勤)
2	疫学研究の分類							清水沙友里(非常勤)
3	横断研究と記述研究							清水沙友里(非常勤)
4	コホート研究							清水沙友里(非常勤)
5	症例対照研究							清水沙友里(非常勤)
6	スクリーニング							清水沙友里(非常勤)
7	バイアス1							横山和仁
8	バイアス2							横山和仁
9	交絡1							横山和仁
10	交絡2							横山和仁
11	仮説							横山和仁
12	因果関係							横山和仁
13	介入研究							横山和仁
14	メタアナリシス							横山和仁
15	まとめ							清水沙友里(非常勤)
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	環境保健学概論			授業形態	講義		
科目担当者	和田 耕治、横山						
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	必修	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	ヒトを取り巻く環境とその変動が健康に及ぼす影響について、環境汚染物質による中毒学と生体の環境および酸化ストレス応答論について解説する。さらに、環境・酸化ストレス応答における生体防御の観点から様々な疾病の分子予防医学について論ずる。環境からの有害影響をその要因から理解し、対策を検討することを目的としている。また、日本の経験である公害からも学び、公害健康被害補償法、発生源負担原則(PPP原則)や環境基本法と関連法令についても体系的に理解することも狙いとする。						
授業の到達目標	人間の健康と環境の関係を理解し、例を挙げて説明することができる。						
回数	授業計画(内容)						担当
1	環境保健学とは						和田 耕治
2	リスク管理の考え方						横山 和仁
3	リスクコミュニケーション						横山 和仁
4	有害性の特定						和田 耕治
5	毒性学						和田 耕治
6	暴露評価						横山 和仁
7	環境疫学1						和田 耕治
8	環境疫学2						和田 耕治
9	有害因子1						和田 耕治
10	有害因子2						和田 耕治
11	有害因子3						和田 耕治
12	有害因子4						横山 和仁
13	環境管理論1						横山 和仁
14	環境管理論2						横山 和仁
15	環境マネジメント						横山 和仁
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()						
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療管理学概論			授業形態	講義			
科目担当者	石川 ベンジャミン光一							
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	わが国の医療保険制度、医療政策、医療システム、医療提供体制、患者受療動向、病院マネジメントなどについて、その相互関係を理解するとともに、少子高齢化が進むなかで持続可能な医療構造についてともに考える。医療活動の主要な現場となる病院医療の仕組みを学ぶ。病院を円滑に運営するためのマネジメントの重要課題を把握する。							
授業の到達目標	1. わが国の保健医療政策について現状を知り、保健医療政策と医療マネジメントに関する基本的な考え方を身につける 2. 医療管理の基本的経営手法を理解する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	医療管理とは						石川 ベンジャミン光一	
2	日本の医療供給体制						石川 ベンジャミン光一	
3	地域の医療供給体制						石川 ベンジャミン光一	
4	医療提供に関する法令						石川 ベンジャミン光一	
5	医療政策の決定過程						石川 ベンジャミン光一	
6	補助金と基金						石川 ベンジャミン光一	
7	診療報酬						石川 ベンジャミン光一	
8	情報の開示						石川 ベンジャミン光一	
9	医療保険者と保険者機能						石川 ベンジャミン光一	
10	医療の質の評価						石川 ベンジャミン光一	
11	医療の安全						石川 ベンジャミン光一	
12	専門的医療従事者						石川 ベンジャミン光一	
13	患者のための医療						石川 ベンジャミン光一	
14	病院のガバナンスとマネジメント						石川 ベンジャミン光一	
15	まとめ						石川 ベンジャミン光一	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療倫理学概論			授業形態	講義		
科目担当者	荻野 美恵子、天野 隆弘						
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	必修	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	保健医療や公衆衛生活動における倫理的諸問題、人間を対象とする研究実施に際して知っておくべき倫理的事項について概説する。生命倫理と医の倫理に関する規範の意味やその歴史的流れをふまえながら、患者の基本的権利について理解する。さらに医師法や医療法といった関連する医事法制を整理し、守秘義務、応召義務、医学的無益性といった様々な倫理的問題についても学ぶ。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療現場において意思決定を行う際に必要な医療倫理の基本的な知識・考え方を身に付ける。 ・倫理的観点から対応が困難と想定される事例において、自分の考えを述べることができる。 						
回数	授業計画(内容)						担当
1	医療倫理学総論						天野 隆弘
2	医療従事者・患者関係						天野 隆弘
3	医療倫理学の実際						天野 隆弘
4	倫理申請について						荻野 美恵子
5	インフォームド・コンセント						荻野 美恵子
6	インフォームド・アセント						荻野 美恵子
7	終末期医療1						荻野 美恵子
8	終末期医療2						荻野 美恵子
9	公衆衛生と倫理1						荻野 美恵子
10	公衆衛生と倫理2						荻野 美恵子
11	ケーススタディ1						荻野 美恵子
12	ケーススタディ2						荻野 美恵子
13	ケーススタディ3						荻野 美恵子
14	ケーススタディ4						荻野 美恵子
15	まとめ						荻野 美恵子
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()						
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	社会行動科学概論			授業形態	講義			
科目担当者	中里 道子、岡 孝和、中尾睦宏							
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	必修	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	行動科学理論に基づいた生活習慣の変容、健康増進活動などを導くための基本知識を学習する。各種の条件付け、自己効力感といった行動科学の概念が健康評価にどのように役立つか討論する。							
授業の到達目標	健康に関わる行動を社会、文化との関わりで理解する。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	健康とは						中尾睦宏	
2	医療における行動科学の役割						中尾睦宏	
3	健康と行動の関連						中尾睦宏	
4	健康教育						中尾睦宏	
5	保健行動						中尾睦宏	
6	保健行動に関わる社会的要因						中里 道子	
7	保健行動に関わる心理的要因						中里 道子	
8	健康づくりとは1						中里 道子	
9	行動科学の理論1						岡 孝和	
10	行動科学の理論2						岡 孝和	
11	健康づくりとは2						中里 道子	
12	行動科学モデル						岡 孝和	
13	エンパワーメント教育						岡 孝和	
14	ライフスキル教育						岡 孝和	
15	まとめ						岡 孝和	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療経済学概論			授業形態	講義			
科目担当者	池田 俊也、小川 俊夫							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	医療経済学の基礎的な理論と、医療技術・薬物療法・看護ケアなどの経済的効率性を定量的に評価するための医療経済評価の手法と、現場等での活用方法について学ぶ。							
授業の到達目標	1. 医療経済学の基礎について理解する 2. 経済的効率性を定量的に評価するための医療経済評価の手法について学ぶ。 3. 医療経済評価を臨床現場等で活用する方法について学ぶ。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	医療経済学とは						小川 俊夫	
2	医療保険の理論						小川 俊夫	
3	医療サービスの需要						小川 俊夫	
4	医療サービスの生産						小川 俊夫	
5	医療従事者の労働市場						小川 俊夫	
6	医療における競争と規制						小川 俊夫	
7	市場の失敗						小川 俊夫	
8	比較制度論						小川 俊夫	
9	費用分析						池田 俊也	
10	費用効果分析						池田 俊也	
11	QALYとDALY						池田 俊也	
12	費用効用分析						池田 俊也	
13	費用便益分析						池田 俊也	
14	医療経済評価の国際動向						池田 俊也	
15	総括						池田 俊也	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療情報システム概論			授業形態	講義		
科目担当者	篠原 信夫						
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	医療に関連する情報技術(Information Technology)と、それを扱う情報システムについて概説する。そのために、医療情報の特徴について理解し、その発生から利用にいたるまで情報の流れに沿って説明し、そこに関わる情報システムを解説する。医療に関連する情報技術や情報システムを理解するために必要なコンピュータの知識についても講義を行う。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院情報システムとは何か、例を用いて説明することができる。 2. 病院における情報の発生から利用にいたるまで、例を用いて説明できる。 3. 情報の収集と利用の観点から、病院情報システムの改善点を示すことができる。 						
回数	授業計画(内容)						担当
1	医療情報とは						篠原 信夫
2	医療情報システム						篠原 信夫
3	ITの基礎1						篠原 信夫
4	情報システムの定義						篠原 信夫
5	病院情報システム						篠原 信夫
6	医療情報の標準化						篠原 信夫
7	電子カルテ						篠原 信夫
8	地域医療連携・HER						篠原 信夫
9	医療データの特徴						篠原 信夫
10	より詳細なデータの取得						篠原 信夫
11	医療データの活用						篠原 信夫
12	情報システム改善の要点						篠原 信夫
13	ITの基礎2						篠原 信夫
14	医療情報システムの今後						篠原 信夫
15	まとめ						篠原 信夫
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()						
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	臨床心理学概論	授業形態	講義					
科目担当者	亀口 憲治、鹿島 晴雄、波田野 茂幸、小野寺 敦志、小島 秀吾、村上 正人、白井 明美、飯長							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	臨床心理学の内容について、実践例を含めた講義を通して、多面的に学ぶことで、臨床心理学の活動分野と活動内容のイメージを具体的に持つ。各臨床領域での臨床心理の活動の実際を知ること、医療福祉専門職の受講生が、臨床心理士との他職種連携を行っていく際の、臨床心理学の専門職の理解の一助とする。合わせて、臨床心理学的知見を、自身の専門分野に生かしていくヒントを得る機会とする。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床心理学の活動分野と活動内容のイメージを具体的に持つことができる。 2. 各臨床領域での臨床心理の活動の実際を知る。 3. 臨床心理学的知見を、自身の専門分野に生かしていくヒントを得ることができる。 							
回数	授業計画(内容)							担当
1	イントロダクション							亀口 憲治
2	個人、家族、そして集団をつなぐ臨床心理学							亀口 憲治
3	脳の器質障害による精神症状							鹿島 晴雄
4	統合失調症の特異的症状							鹿島 晴雄
5	子どもの心と遊びの世界							波田野 茂幸
6	思春期の心の理解							波田野 茂幸
7	認知症の本人理解・介護家族の理解と支援							小野寺 敦志
8	非行・犯罪の心理 どのように理解するか							小島 秀吾
9	非行・犯罪の心理 どのように再犯を予防するか							小島 秀吾
10	専門職のストレスマネジメントと人材育成							小野寺 敦志
11	心身のストレスを低減する理論と技法							村上 正人
12	悲嘆の心理とグリーフケア							白井 明美
13	愛着の発達と障害							飯長 喜一郎
14	子育て支援							飯長 喜一郎
15	まとめ							白井 明美
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療人類学	授業形態	講義					
科目担当者	磯野 真穂							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	医療人類学は、現代医療が得意とする数値化、資格化からは零れ落ちる人間のいのちを捉えることを得意とする学問である。日本ではあまり知られていないが、医療人類学は20世紀後半からアメリカで盛んになり、その後世界に広まった。本授業では、医療人類学の基本的な考え方を踏まえつつ、数値化や視覚化かたは零れ落ちる人間のいのちの在り方を理論的かつ包括的にとらえる方法を、主要文献と共に紹介してゆく。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の医療現場にある問題を相対化する視点を身につける。 2. 異文化の医療体系を通じて、現代医療を支える哲学・倫理観を捉える方法を身につける。 3. ひとが抱える心身の不調を、個人の後ろ側にある社会や文化、政治・経済状況を含めた包括的なものとして捉える視点を身につける。 							
回数	授業計画(内容)							担当
1	イントロダクション							磯野 真穂
2	けがれ1							磯野 真穂
3	けがれ2							磯野 真穂
4	交換1							磯野 真穂
5	交換2							磯野 真穂
6	科学・身体・ジェンダー1							磯野 真穂
7	科学・身体・ジェンダー2							磯野 真穂
8	科学・身体・ジェンダー3							磯野 真穂
9	生殖技術と家族1							磯野 真穂
10	生殖技術と家族2							磯野 真穂
11	生殖技術と家族3							磯野 真穂
12	リスク・身体・未来1							磯野 真穂
13	リスク・身体・未来2							磯野 真穂
14	リスク・身体・未来3							磯野 真穂
15	まとめ							磯野 真穂
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	質的研究法概論	授業形態	演習					
科目担当者	磯野 真穂							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	質的研究の究極的な目標は現象の意味を捉え、その本質を探究することである。従ってその姿勢は統計調査における結果の解釈の際にも応用できる普遍的なものである。本演習では、質的研究に初めてふれる院生を対象に質的研究の方法をステップバイステップで学んでゆく。							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・質的研究の意義が理解できる ・文献調査の結果から、研究設問が設定できる ・予備調査が実施できる ・インタビューガイド/参与観察のガイドが作成できる ・予備調査と文献調査の結果から研究計画書が記述できる ・質的研究の倫理的配慮について理解できる 							
回数	授業計画(内容)							担当
1	質的調査とは？							磯野 真穂
2	研究の設定と概念図作成							磯野 真穂
3	文献調査							磯野 真穂
4	リサーチデザイン1							磯野 真穂
5	リサーチデザイン2							磯野 真穂
6	予備調査1							磯野 真穂
7	予備調査2							磯野 真穂
8	コーディング1							磯野 真穂
9	コーディング2							磯野 真穂
10	研究設問の決定1							磯野 真穂
11	研究設問の決定2							磯野 真穂
12	研究計画書の作成1							磯野 真穂
13	研究計画書の作成2							磯野 真穂
14	研究発表							磯野 真穂
15	まとめ							磯野 真穂
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	心理学研究法概論	授業形態	講義					
科目担当者	小野寺 敦志							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	人間を対象とした研究とはなにか、その研究計画の立て方、方法、倫理、結果のとりまとめ方の学習を通して、研究を自分自身で計画立案し、実施できるスキルを身につけること。そして、研究的な思考や手法が、研究実践だけではなく、臨床実践の基礎となることを理解する。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究を行うことの意義を理解する。 2. 研究計画の立て方、目的・仮説の設定の仕方、方法の組み立てをできる。 3. 研究倫理の意義と内容を理解し、研究を進める際に倫理的配慮ができる。 4. 研究手法の多様性を理解する。 5. 心理学的研究法の学習を通して、臨床実践との関連を理解する。 							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	心理研究の進め方						小野寺 敦志	
2	研究倫理						小野寺 敦志	
3	観察法						小野寺 敦志	
4	調査的面接法						小野寺 敦志	
5	質問紙調査法						小野寺 敦志	
6	実験法						小野寺 敦志	
7	研究論文の書き方1						小野寺 敦志	
8	研究論文の書き方2						小野寺 敦志	
9	臨床心理研究とは						小野寺 敦志	
10	臨床的記述研究						小野寺 敦志	
11	臨床実践の評価研究1						小野寺 敦志	
12	臨床実践の評価研究2						小野寺 敦志	
13	因果関係を探る科学的研究1						小野寺 敦志	
14	因果関係を探る科学的研究2						小野寺 敦志	
15	まとめ						小野寺 敦志	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	研究デザイン入門	授業形態	講義					
科目担当者	中田 光紀、矢野(五味)晴美、Le Tran Ngoan、磯野 真穂、阪口 博政							
配当年次/期別	1, 2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	公衆衛生研究の進め方について、ステップごとに論じる。また、各種研究手法について理解する。							
授業の到達目標	公衆衛生研究を企画するための知識・スキルを習得する 公衆衛生研究の各種手法について理解する							
回数	授業計画(内容)							担当
1	イントロダクション							中田 光紀
2	公衆衛生研究とは							中田 光紀
3	公衆衛生研究の種類と選択1							矢野(五味)晴美
4	公衆衛生研究の種類と選択2							矢野(五味)晴美
5	リサーチクエスション							矢野(五味)晴美
6	データ取得とビッグデータ							Le Tran Ngoan
7	データ処理と統計解析							Le Tran Ngoan
8	暴露要因の測定方法							中田 光紀
9	アウトカムの測定方法							中田 光紀
10	質的研究法1							磯野 真穂
11	質的研究法2							磯野 真穂
12	量的研究法1							中田 光紀
13	量的研究法2							中田 光紀
14	ケーススタディ							矢野(五味)晴美
15	まとめ							Le Tran Ngoan
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	研究デザイン演習	授業形態	演習					
科目担当者	池田 俊也、中田 光紀、矢野(五味)晴美、Le Tran Ngoan、磯野 真穂							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究企画書の作成を通して、研究内容を理解し、研究計画を立案する。また、研究内容を説明する能力を涵養する。							
授業の到達目標	研究企画書の作成ができるようになる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	研究企画書とは						矢野(五味)晴美	
2	臨床研究のデザイン						矢野(五味)晴美	
3	疫学研究のデザイン						中田 光紀	
4	プロトコル作成演習1						池田、Ngoan、磯野	
5	プロトコル作成演習2						池田、Ngoan、磯野	
6	プロトコル作成演習3						池田、Ngoan、磯野	
7	研究企画書作成演習1						池田、Ngoan、磯野	
8	研究企画書作成演習2						池田、Ngoan、磯野	
9	研究企画書作成演習3						池田、Ngoan、磯野	
10	研究企画書作成演習4						池田、Ngoan、磯野	
11	研究企画書作成演習5						池田、Ngoan、磯野	
12	研究企画書作成演習6						池田、Ngoan、磯野	
13	研究企画書発表1						池田、Ngoan、磯野	
14	研究企画書発表2						池田、Ngoan、磯野	
15	まとめ						池田、Ngoan、磯野	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医学概論I(基礎医学)			授業形態	講義			
科目担当者	松本 哲哉、池田 啓子、岡本 秀彦、北川 元生、森田 林平、山田 哲司、西村 渉、小阪 淳、森泰文、川岸 久太郎、富田 裕彦、福澤 龍二、潮見 隆之、矢島 大介							
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	臨床医学の入門となる必須事項を適切に理解するための基礎医学領域の講義をする。人体の構造と機能について理解するため、細胞レベルから臓器レベルに至るまでの解剖学、生化学、生理学など基礎医学全般を学ぶ。							
授業の到達目標	生命現象と人体のつくり(細胞、組織、器官、器官系)、体液の意義を理解する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	解剖学1						小阪 淳	
2	解剖学2						森 泰文	
3	解剖学3						川岸 久太郎	
4	生化学						北川 元生	
5	分子生物学						西村 渉	
6	生理学1						岡本 秀彦	
7	腫瘍病理学						VOD	
8	免疫学						森田 林平	
9	微生物学						松本 哲哉	
10	薬理学						林 真理子(兼担)	
11	病理学1						富田 裕彦	
12	病理学2						福澤 龍二	
13	病理学3						潮見 隆之	
14	生理学2						池田 啓子	
15	法医学						矢島 大介	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医学概論II(臨床医学)			授業形態	講義			
科目担当者	中里 道子、海老沼 浩利、河村 朗夫、竹本 稔、鷺田 直輝、津島 健司、中世古 知昭、村井 弘之、廣瀬 晃一、宮崎 淳、石井 賢、田中 宏一、森 圭介、岡野 光博、菅谷 誠							
配当年次/期別	1年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	保健、医療、福祉に携わる保健医療従事者(医師、看護師など)が連携していく上で不可欠な臨床医学に関する基礎知識と課題について講義する。							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代医学・医療の基本的な内容や方向性を理解できる。 ・社会における臨床医学の役割や抱える問題点とその背景を、様々な立場から理解できる 							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	神経内科						村井 弘之	
2	消化器内科						海老沼 浩利	
3	産婦人科						田中 宏一	
4	代謝・内分泌内科						竹本 稔	
5	腎臓内科						鷺田 直輝	
6	呼吸器内科						津島 健司	
7	血液内科						中世古 知昭	
8	精神科						中里 道子	
9	アレルギー・膠原病内科						廣瀬 晃一	
10	泌尿器外科						宮崎 淳	
11	整形外科						石井 賢	
12	循環器内科						河村 朗夫	
13	眼科						臼井 智彦	
14	耳鼻咽喉科						岡野 光博	
15	皮膚科						菅谷 誠	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学概論			授業形態	講義			
科目担当者	小川 俊夫, Roger Ngatu Nlandu							
配当年次/期別	1, 2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	国際保健を理解するうえで重要な健康指標と各種疾病の現状について学び、統計情報を用いて問題の程度を説明できるようにする。また、国連ミレニアム開発目標(MDGs)のうち公衆衛生に関わるテーマにも理解を深める。これらの状況をとりまく医療人類学の素養、保健医療システムの評価、財政、保健医療サービスの質といった内容についても検討し、グローバルヘルスを考えるうえで重要な論点の整理と理解につとめる							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界における健康問題を理解し、その対策を考えることができる 2. 国際保健の枠組みを理解する 3. 国際保健における日本の役割を理解する 							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	国際保健とは						小川 俊夫	
2	世界の人口と高齢化						小川 俊夫	
3	保健指標						小川 俊夫	
4	先進国と発展途上国						小川 俊夫	
5	世界から見た日本の健康状態						小川 俊夫	
6	国際協力1						Roger Ngatu Nlandu	
7	国際協力2						Roger Ngatu Nlandu	
8	発展途上国の健康問題1						Roger Ngatu Nlandu	
9	発展途上国の健康問題2						Roger Ngatu Nlandu	
10	発展途上国の健康問題3						Roger Ngatu Nlandu	
11	先進諸国の健康問題1						小川 俊夫	
12	先進諸国の健康問題2						小川 俊夫	
13	先進諸国の健康問題3						小川 俊夫	
14	国際医療協力1						小川 俊夫	
15	国際医療協力2						小川 俊夫	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学各論	授業形態	講義					
科目担当者	小川 俊夫, Roger Ngatu Nlandu, Le Tran Ngoan							
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	国際保健を理解するうえで重要な健康指標と各種疾病の現状について学び、統計情報を用いて問題の程度を説明できるようにする。また、国連ミレニアム開発目標(MDGs)のうち公衆衛生に関わるテーマにも理解を深める。これらの状況をとりまく医療人類学の素養、保健医療システムの評価、財政、保健医療サービスの質といった内容についても検討し、グローバルヘルスを考えるうえで重要な論点の整理と理解につとめる							
授業の到達目標	国際社会と日本社会の違いを知るとともに、日本が可能な国際保健への貢献について考えられる。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	今日の国際保健の問題とは						小川 俊夫	
2	発展途上国と先進国の医療と健康						小川 俊夫	
3	国際社会と国際保健						Roger Ngatu Nlandu	
4	医療システム						小川 俊夫	
5	保健医療財政						小川 俊夫	
6	医療費自己負担						小川 俊夫	
7	医療サービス供給と医療の質						Roger Ngatu Nlandu	
8	医療資源						小川 俊夫	
9	MDGs						Roger Ngatu Nlandu	
10	SDGs						Le Tran Ngoan	
11	UHC 1						Le Tran Ngoan	
12	UHC 2						Roger Ngatu Nlandu	
13	グローバル・ヘルス・ガバナンス1						Roger Ngatu Nlandu	
14	グローバル・ヘルス・ガバナンス2						小川 俊夫	
15	まとめ						小川 俊夫	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	感染症学	授業形態	講義					
科目担当者	渡邊 治雄, 松本 哲哉, 加藤 康幸, 矢野 晴美							
配当年次/期別	1, 2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	地球上で最も多い疾患は感染症である。そのため、病院、クリニック、薬局のどこに行っても薬剤師の重要な仕事のひとつは感染症対策である。感染症を起こす微生物はウイルス、細菌、真菌、原虫、寄生虫など多種多様である。この講義ではまず病原微生物の特性について学ぶ。また、病原体と宿主の相互作用の結果が疾病につながるので、病原微生物と宿主の相互作用や、感染症の診断法と予防法を学ぶ。							
授業の到達目標	一般細菌の分類・形態・性状・遺伝子構造などの基礎的知識を習得するとともに、病原細菌の感染・定着および病原性発現メカニズムを理解する							
回数	授業計画(内容)							担当
1	細菌学1							渡邊 治雄
2	細菌学2							渡邊 治雄
3	細菌学3							渡邊 治雄
4	ウイルス学1							矢野 晴美
5	ウイルス学2							矢野 晴美
6	ウイルス学3							矢野 晴美
7	感染免疫学1							松本 哲哉
8	感染免疫学2							松本 哲哉
9	感染免疫学3							松本 哲哉
10	感染と発症							渡邊 治雄
11	微生物遺伝学1							加藤 康幸
12	微生物遺伝学2							加藤 康幸
13	寄生虫学1							加藤 康幸
14	寄生虫学2							加藤 康幸
15	熱帯医学							矢野 晴美
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際感染症学			授業形態	講義			
科目担当者	渡邊 治雄, 松本 哲哉, 加藤 康幸, 矢野 晴美							
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	世界の人々の健康を脅かしている感染症の現状と背景をなしている課題を学習する。また、サーベイランスの手法を始め、公衆衛生専門家としてアウトブレイク対策など各種対策における役割を理解する。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国内外の感染症の現状と変遷に関する理解を深める。 2. 病原体診断、治療、予防のための基本的アプローチと手技について学習する。 3. 病原体診断のための実験室の基本操作を熟知する 							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	感染症の概念と歴史的変遷						渡邊 治雄	
2	感染症に対する生体防御機構						渡邊 治雄	
3	新興、再興感染症						渡邊 治雄	
4	世界規模における感染症流行の現状と対策						渡邊 治雄	
5	国内における感染症流行の現状と対策						渡邊 治雄	
6	感染症診断学(総論)						矢野 晴美	
7	感染症治療学(総論)						矢野 晴美	
8	医療機関における感染症診療の位置付け						矢野 晴美	
9	感染症サーベイランスの方法論1						松本 哲哉	
10	感染症サーベイランスの方法論2						松本 哲哉	
11	感染症予防学((総論)						松本 哲哉	
12	渡航感染症(総論)						加藤 康幸	
13	渡航感染症(各論)						加藤 康幸	
14	感染症に関わる医療スタッフとその役割						加藤 康幸	
15	総括						加藤 康幸	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際機関論	授業形態	講義					
科目担当者	小川 俊夫、Nwe Nwe Oo							
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	<p>国際保健の現場では、国際機関を含む多数のプレイヤーが並行して活動しているのが現状であり、それらの組織と活動を理解することは、現代の国際保健の枠組みを理解するために非常に重要である。本講義では医療分野での国際機関の役割について理解するとともに、WHOをはじめとする主要な国際機関の国際保健分野での活動について理解する。さらに、二国間援助の実施機関としてのJICAや国際NGOの役割についても理解した上で、発展途上国における国際機関の果たす役割と今後のあり方について考察する。</p>							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国際保健分野における様々な国際機関の役割と関係について正しく理解し、説明できるようにする。 ・国際保健における国際機関の役割について、エイズ対策など国際社会全体で取り組むべき課題について、これまでの成果と問題点について説明できるようになる。 ・国際保健分野の課題について、国際機関の活動を通じて理解し、説明できるようにする。 ・発展途上国の医療分野の援助における国際機関などの様々なプレイヤーの役割を理解し、またそのコーディネーションの問題について理解し、説明できるようにする。 							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	国際機関概論:国際保健における国際援助の枠組みと国連の役割						小川 俊夫	
2	国際保健分野における国際機関の種別と役割						小川 俊夫	
3	国連本部と主要機関、専門機関						小川 俊夫	
4	国際保健とWHO(1)成り立ちと役割						小川 俊夫	
5	国際保健とWHO(2)本部組織と地域事務局、カントリーオフィス						小川 俊夫	
6	国際保健とWHO(3)WHOの国際保健活動の事例						小川 俊夫	
7	国際保健におけるUNDPの役割と主要な活動						小川 俊夫	
8	国際保健における世界銀行グループの役割と主要な活動						小川 俊夫	
9	世界のエイズ対策(1)エイズ対策の現状						小川 俊夫	
10	世界のエイズ対策(2)UNAIDSとThe Global Fundの役割と主要な活動						小川 俊夫	
11	国際保健と二国間援助						小川 俊夫	
12	国際保健におけるJICAの役割						小川 俊夫	
13	国際保健における国際NGOの役割						小川 俊夫	
14	発展途上国から見た国際機関による医療活動						Nwe Nwe Oo	
15	Global Health Governanceとこれからの国際保健のあり方について						小川 俊夫	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学分野インターンシップ			授業形態	演習			
科目担当者	小川 俊夫							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	国際機関や海外の提携機関において、インターンとして参加する。							
授業の到達目標								
回数	授業計画(内容)						担当	
1	インターン先の機関にて各種プロジェクトや研究事業に参加する							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:100%							
教科書	配布資料							
オフィスアワー	授業終了後、随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学研究指導I(研究計画作成)			授業形態	演習			
科目担当者	渡邊 治雄, 松本 哲哉, 加藤 康幸, 小川 俊夫, 矢野 晴美, Roger Ngatu Nlandu, 和田耕治							
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書を作成する							
授業の到達目標	研究の背景を取りまとめ、研究計画書を完成させる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	研究計画書を作成し、指導教員の指導を受けて完成させる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	研究計画書作成のプロセスと内容: 100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学研究指導Ⅱ(文献検索)			授業形態	演習			
科目担当者	渡邊 治雄, 松本 哲哉, 加藤 康幸, 小川 俊夫, 矢野 晴美, Roger Ngatu Nlandu, 和田耕治							
配当年次/期別	1年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、文献検索を実施する							
授業の到達目標	研究計画書に基づいて文献検索を実施し、その結果を取りまとめる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	文献検索を実施し、その結果を取りまとめる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	文献検索のプロセスと内容:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学研究指導Ⅲ(データ収集)			授業形態	演習			
科目担当者	渡邊 治雄, 松本 哲哉, 加藤 康幸, 小川 俊夫, 矢野 晴美, Roger Ngatu Nlandu, 和田耕治							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、データ収集を実施する。また、中間発表に向けた取りまとめを実施する							
授業の到達目標	研究に必要なデータ収集を実施する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	データ収集の計画を立案し、実際のデータ収集を実施する							
2	中間発表に向けた取りまとめを実施する							
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	データ収集の結果:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学研究指導Ⅳ(データ分析)			授業形態	演習			
科目担当者	渡邊 治雄, 松本 哲哉, 加藤 康幸, 小川 俊夫, 矢野 晴美, Roger Ngatu Nlandu, 和田耕治							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、収集したデータを分析する							
授業の到達目標	適切な解析手法を用いてデータ分析を実施する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	データ解析手法を理解し、実際のデータ分析を実施する							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	データ解析の結果:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	国際保健学研究指導Ⅴ(論文作成)			授業形態	演習			
科目担当者	渡邊 治雄, 松本 哲哉, 加藤 康幸, 小川 俊夫, 矢野 晴美, Roger Ngatu Nlandu, 和田耕治							
配当年次/期別	2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	修士論文として研究結果を取りまとめる							
授業の到達目標	修士論文を完成させる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	文献検索やデータ解析の結果を論文として取りまとめる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	修士論文の提出:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉政策学概論			授業形態	講義			
科目担当者	中村 秀一							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	医療や福祉に関する政策について、特に限られた医療や福祉資源を如何に適正に分配するための原理・原則と行動計画の策定について学習する。特に、わが国の医療及び福祉政策を中心に議論するが、海外の事例も用いて、国際的視野で学ぶことを目指す。							
授業の到達目標	わが国の医療保険制度の現状と課題についての理解が得られるとともに、今後の医療保険制度の方向性について考える枠組みを獲得できる。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	イントロダクション						中村 秀一	
2	国民皆保険システム						中村 秀一	
3	保険財政の体制						中村 秀一	
4	給付と負担						中村 秀一	
5	老人医療費問題						中村 秀一	
6	医療制度改革論1						中村 秀一	
7	医療制度改革論2						中村 秀一	
8	医療提供体制の現状と課題						中村 秀一	
9	診療報酬制度をめぐる論点1						中村 秀一	
10	診療報酬制度をめぐる論点2						中村 秀一	
11	現在進行中の医療制度改革1						中村 秀一	
12	現在進行中の医療制度改革2						中村 秀一	
13	現在進行中の医療制度改革3						中村 秀一	
14	現在進行中の医療制度改革4						中村 秀一	
15	今後の展望						中村 秀一	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療政策学概論			授業形態	講義		
科目担当者	松谷 有希雄, 荻野 美恵子, 武藤 正樹						
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	わが国の社会保障制度全体における医療保健制度の位置づけを理解しつつ、わが国の医療保健制度の現状、課題につき医療提供体制及び公的医療保険制度のあり方などを理解する。また介護保険制度など他の福祉制度との連携の在り方についても学習する。						
授業の到達目標	医療の領域の政策・制度に関する沿革、現状、理論・概念、研究・評価手法、課題と対策について、重要事項を理解し、他者に説明しできるようになる						
回数	授業計画(内容)						担当
1	医療政策とは						松谷 有希雄
2	国家の役割						荻野 美恵子
3	医療財政						荻野 美恵子
4	医療の質と安全						武藤 正樹
5	健康の決定要因						荻野 美恵子
6	わが国の医療政策1						荻野 美恵子
7	わが国の医療政策2						荻野 美恵子
8	諸外国の医療政策1						荻野 美恵子
9	諸外国の医療政策2						荻野 美恵子
10	医療政策と市場						荻野 美恵子
11	地域医療構想1						荻野 美恵子
12	地域医療構想2						荻野 美恵子
13	地域医療構想3						荻野 美恵子
14	医療政策と疾病						荻野 美恵子
15	まとめ						荻野 美恵子
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()						
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療経営学入門			授業形態	講義			
科目担当者	調整中							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	病院経営において発生する様々な経営課題とそれに影響を与える事象と背景について、経営の考え方の母体となる経済学の代表的な理論(ミクロ経済学・会計学・人材管理学・組織行動学など)に基づき理解し、説明できることを目指す。同時に、医療現場の現実に関する知識も身につける。							
授業の到達目標	医療分野のマネジメントに関する理論と実務の基礎を学ぶことで、ケースメソッドや専門科目を受講する上でのベースとなる知識や応用力を身につける。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	オリエンテーション						調整中	
2	経営学における医療経営学の特徴						調整中	
3	日本の医療供給体制の概要						調整中	
4	地域医療構想と地域包括ケアシステム						調整中	
5	コスト管理入門						調整中	
6	病院における診療と請求						調整中	
7	病院における費用と損益分岐点						調整中	
8	日本の医療政策・制度の特徴						調整中	
9	医療経済学入門						調整中	
10	疫学入門						調整中	
11	医薬品の現状と将来						調整中	
12	財務三表の活用1						調整中	
13	財務三表の活用2						調整中	
14	財務三表の活用3						調整中	
15	総括						調整中	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉経営学各論			授業形態	講義			
科目担当者	石川 ベンジャミン光一							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	医療経営・管理・経済学の理論を理解したうえで、現実の医療現場を経営・管理・経済学の視点から見て、その問題点を把握する。医療現場が実際に直面する問題を例として取り上げ、その解決の可能性を議論して現代の医療の抱える問題点を実感することを目標とする。							
授業の到達目標	医療経営、管理、経済学の理論を理解し、説明できるようにする							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	イントロダクション						石川 ベンジャミン光一	
2	組織とマネジメント						石川 ベンジャミン光一	
3	マネジメントの質的变化と活性化						石川 ベンジャミン光一	
4	マーケティング						石川 ベンジャミン光一	
5	円滑な業務遂行						石川 ベンジャミン光一	
6	問題解決						石川 ベンジャミン光一	
7	リーダーシップ						石川 ベンジャミン光一	
8	コミュニケーション						石川 ベンジャミン光一	
9	財務管理						石川 ベンジャミン光一	
10	収支管理と計画						石川 ベンジャミン光一	
11	ケーススタディ1						石川 ベンジャミン光一	
12	ケーススタディ2						石川 ベンジャミン光一	
13	ケーススタディ3						石川 ベンジャミン光一	
14	ケーススタディ4						石川 ベンジャミン光一	
15	まとめ						石川 ベンジャミン光一	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	財務会計論			授業形態	講義			
科目担当者	安部 和彦							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	財務諸表がどのように作成されるかについて、ヘルスケア分野の財務諸表のユーザーという視点でその全体像を理解することで、財務会計の基本的な考え方を習得することを目標とする。							
授業の到達目標	財務諸表の作成方法を理解する。 財務諸表相互のつながりを理解する。 財務諸表の分析方法について理解する。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	イントロダクション						安部 和彦	
2	簿記一巡の手続き～会社設立から決算まで						安部 和彦	
3	簿記一巡の手続き～設立2期目						安部 和彦	
4	簿記一巡の手続き～設立3期目(2号店の開設)						安部 和彦	
5	損益計算書の仕組み～売上						安部 和彦	
6	損益計算書の仕組み～売上原価と費用						安部 和彦	
7	貸借対照表の仕組み～資産の会計						安部 和彦	
8	貸借対照表の仕組み～負債の会計						安部 和彦	
9	貸借対照表の仕組み～資本(純資産)の会計						安部 和彦	
10	資金計画とキャッシュフロー						安部 和彦	
11	財務分析の方法その1						安部 和彦	
12	財務分析の方法その2						安部 和彦	
13	事例研究その1						安部 和彦	
14	事例研究その2						安部 和彦	
15	総括						安部 和彦	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	管理会計論			授業形態	講義			
科目担当者	安部 和彦							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	ヘルスケア分野の経営管理者にとって重要性を増している管理会計の基本的な考え方を習得することを目標とする。							
授業の到達目標	①問題発見のための会計的手法を理解する。 ②業績管理のための会計的手法を理解する。 ③経営意思決定のための会計的手法について理解する。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	全体の概略						安部 和彦	
2	財務諸表分析の方法～収益性分析						安部 和彦	
3	財務諸表分析の方法～ROE・安全性分析						安部 和彦	
4	財務諸表分析の方法～キャッシュフロー分析						安部 和彦	
5	損益分岐点分析その1						安部 和彦	
6	損益分岐点分析その2						安部 和彦	
7	原価計算の基礎その1						安部 和彦	
8	原価計算の基礎その2						安部 和彦	
9	ABC(活動基準原価計算)						安部 和彦	
10	ファイナンスの基礎概念						安部 和彦	
11	設備投資の意思決定その1						安部 和彦	
12	設備投資の意思決定その2						安部 和彦	
13	事例研究1						安部 和彦	
14	事例研究2						安部 和彦	
15	総括						安部 和彦	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉と税法			授業形態	講義			
科目担当者	安部 和彦							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	ヘルスケア分野の経営管理者にとって重要性を増している税法や租税実務の基本的な考え方を習得することを目標とする。							
授業の到達目標	①税法の基礎を理解する。 ②実務において発生した問題につき税法のあてはめ方を理解する。 ③税法の解釈と立法論・租税政策の意義を理解する。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	全体の概略						安部 和彦	
2	所得税の基礎						安部 和彦	
3	源泉徴収制度						安部 和彦	
4	所得控除						安部 和彦	
5	診療報酬の概算経費控除						安部 和彦	
6	青色申告制度						安部 和彦	
7	法人税法の基礎						安部 和彦	
8	医療法人化と税法						安部 和彦	
9	基金拠出型医療法人						安部 和彦	
10	社会医療法人						安部 和彦	
11	医療福祉施設と消費税1						安部 和彦	
12	医療福祉施設と消費税2						安部 和彦	
13	相続・贈与税の基礎						安部 和彦	
14	事業継承税制						安部 和彦	
15	総括						安部 和彦	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療の質とリスクマネジメント			授業形態	講義		
科目担当者	武藤 正樹、池田 俊也						
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	「医療の質とリスクマネジメント」に関する理論・原則、医療安全の推進に関わる制度・システム、医療施設における組織的な取り組みや地域における実践例、医療事故当事者家族との関わりについて、総論から各論まで体系的に学ぶ。また、患者安全、感染管理、医療の質と改善を多角的視点から論じ、安全で質の高い医療を目指す。						
授業の到達目標	① 医療の質とリスクマネジメントの必要性が理解できる。 ② 各担当部署の医療安全への取り組みと事故防止のための具体策について理解できる。 ③ 医療提供者側のみならず医療事故被害者側から見た医療安全・医療事故について理解できる。 ④ 医療事故事例を分析し対策を検討することができる ⑤ インシデントやアクシデントが発生した場合の対処方法について学ぶ。 ⑥ ①～⑤を理解し、実践につなげることができる。						
回数	授業計画(内容)					担当	
1	はじめに					武藤 正樹	
2	国際的な医療機能評価					池田 俊也	
3	医療の質とリスクマネジメントの実際: 病院看護師の立場					武藤 正樹	
4	医療の質とリスクマネジメントの実際: 病院医師の立場					武藤 正樹	
5	医療の質とリスクマネジメントの実際: 臨床工学士の立場					武藤 正樹	
6	医療の質とリスクマネジメントの実際: 病院薬剤師の立場					武藤 正樹	
7	医療の質とリスクマネジメントの実際: 情報セキュリティ管理					武藤 正樹	
8	医療事故の分析手法論					池田 俊也	
9	医療の質と医療安全推進について					武藤 正樹	
10	医療の質とリスクマネジメントの実際: 医療事故当事者・家族の立場					武藤 正樹	
11	医療の質とリスクマネジメントの実際: 弁護士の立場から					武藤 正樹	
12	医療の質とリスクマネジメントの実際: 訪問看護師の立場から					武藤 正樹	
13	医療の質とリスクマネジメントの実際: クリニック経営者の立場から					武藤 正樹	
14	医療安全の国際比較					武藤 正樹	
15	総括					武藤 正樹	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()						
評価の基準	レポート: 80%、授業参加姿勢: 20%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療マーケティング論			授業形態	講義			
科目担当者	調整中							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	マーケティングの基本概念の解説と医療分野での諸事例をディスカッションを交えながら確認する。また、履修生による発表とグループワークによる演習を通じて、マーケティングの考え方を生かした分析や実際の応用事例について考察を深める。							
授業の到達目標	マーケティングの概念を用いて、医療分野で展開されている状況を説明できる能力を身に付ける。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	イントロダクション						調整中	
2	環境分析と市場機会の発見						調整中	
3	セグメンテーション・ターゲティング						調整中	
4	ポジショニング						調整中	
5	製品戦略						調整中	
6	価格戦略						調整中	
7	コミュニケーション戦略						調整中	
8	ブランド戦略						調整中	
9	ビジネス・マーケティング						調整中	
10	CSR						調整中	
11	グループワーク1						調整中	
12	グループワーク2						調整中	
13	グループワーク3						調整中	
14	グループワーク4						調整中	
15	総括						調整中	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療における法と倫理			授業形態	講義			
科目担当者	岡村 世里奈							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	医療機関の経営や運営、サービス提供に影響を与える法律や倫理問題について取り上げ、その法的枠組みや判例の動向について解説していくとともに、当該法環境の下における医療機関や医療職の対応方法についてグループディスカッション等を通して検討・議論していく。							
授業の到達目標	1. 基本的な法の仕組みを理解する。 2. 医療機関の経営や運営、サービス提供に影響を与えている近年の法律・倫理問題を理解し、その対応策について自らの考えをまとめ、表明できるようになる。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	オリエンテーション						岡村 世里奈	
2	患者の自己決定権①(基本的考え方、インフォームドコンセント)						岡村 世里奈	
3	患者の自己決定権②(判断能力の不十分な者—未成年者、小児医						岡村 世里奈	
4	患者の自己決定権③(判断能力の不十分な者—重度認知症患者、						岡村 世里奈	
5	患者の自己決定権④(死ぬ権利、尊厳死、安楽死)						岡村 世里奈	
6	医療事故と民事責任(医療過誤訴訟)						岡村 世里奈	
7	在宅医療と民事責任						岡村 世里奈	
8	医療事故と刑事責任(チーム医療を中心として)						岡村 世里奈	
9	薬害訴訟の法的構造						岡村 世里奈	
10	医療と個人情報保護						岡村 世里奈	
11	病院と労務管理(労働関係訴訟)1						岡村 世里奈	
12	病院と労務管理(労働関係訴訟)2						岡村 世里奈	
13	病院と労務管理(労働関係訴訟)3						岡村 世里奈	
14	医療の国際化と病院—新たな法的諸課題—						岡村 世里奈	
15	総括						岡村 世里奈	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療経営戦略論				授業形態	講義		
科目担当者	羽田 明浩							
配当年次/期別	1,2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	医療福祉経営の事例と理論(経営戦略論、組織論等)の体系的講義を有機的に結びつけ、積極的な意見交換により理解を深める。							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉経営に必要な経営戦略理論の知識を習得し実務で活用できる。 ・医療福祉経営組織の経営分析と戦略策定の知識を習得する。 							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	医療経営戦略論						羽田 明浩	
2	経営戦略論の系譜						羽田 明浩	
3	経営戦略論 ビジョンとドメインの確認						羽田 明浩	
4	経営戦略論 創発戦略の解説						羽田 明浩	
5	競争戦略論 ポジショニングアプローチ1						羽田 明浩	
6	競争戦略論 ポジショニングアプローチ2						羽田 明浩	
7	競争戦略論 資源ベースアプローチ1						羽田 明浩	
8	競争戦略論 資源ベースアプローチ2						羽田 明浩	
9	医療機関におけるナレッジマネジメント						羽田 明浩	
10	マクロ組織論 病院組織の特徴						羽田 明浩	
11	マクロ組織論 病院組織の発展段階モデル						羽田 明浩	
12	多角化の進展						羽田 明浩	
13	グループワーク1						羽田 明浩	
14	グループワーク2						羽田 明浩	
15	グループワーク3						羽田 明浩	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉管理学分野インターンシップ			授業形態	演習			
科目担当者	池田 俊也							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	国際機関や海外の提携機関において、インターンとして参加する。							
授業の到達目標								
回数	授業計画(内容)						担当	
1	インターン先の機関にて各種プロジェクトや研究事業に参加する							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:100%							
教科書	配布資料							
オフィスアワー	授業終了後、随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉管理学研究指導I(研究計画作成)			授業形態	演習			
科目担当者	池田 俊也, 荻野 美恵子, 武藤 正樹, 高橋 泰, 石川 ベンジャミン光一							
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書を作成する							
授業の到達目標	研究の背景を取りまとめ、研究計画書を完成させる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	研究計画書を作成し、指導教員の指導を受けて完成させる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	研究計画書作成のプロセスと内容:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉管理学研究指導II(文献検索)			授業形態	演習			
科目担当者	池田 俊也, 萩野 美恵子, 武藤 正樹, 高橋 泰, 石川 ベンジャミン光一							
配当年次/期別	1年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、文献検索を実施する							
授業の到達目標	研究計画書に基づいて文献検索を実施し、その結果を取りまとめる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	文献検索を実施し、その結果を取りまとめる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	文献検索のプロセスと内容:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉管理学研究指導Ⅲ(データ収集)			授業形態	演習			
科目担当者	池田 俊也, 萩野 美恵子, 武藤 正樹, 高橋 泰, 石川 ベンジャミン光一							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、データ収集を実施する。また、中間発表に向けた取りまとめを実施する							
授業の到達目標	研究に必要なデータ収集を実施する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	データ収集の計画を立案し、実際のデータ収集を実施する							
2	中間発表に向けた取りまとめを実施する							
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	データ収集の結果:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉管理学研究指導IV(データ分析)			授業形態	演習			
科目担当者	池田 俊也, 萩野 美恵子, 武藤 正樹, 高橋 泰, 石川 ベンジャミン光一							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、収集したデータを分析する							
授業の到達目標	適切な解析手法を用いてデータ分析を実施する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	データ解析手法を理解し、実際のデータ分析を実施する							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	データ解析の結果: 100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉管理学研究指導V(論文作成)			授業形態	演習			
科目担当者	池田 俊也, 萩野 美恵子, 武藤 正樹, 高橋 泰, 石川 ベンジャミン光一							
配当年次/期別	2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	修士論文として研究結果を取りまとめる							
授業の到達目標	修士論文を完成させる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	文献検索やデータ解析の結果を論文として取りまとめる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	修士論文の提出:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	生物統計学各論	授業形態	講義					
科目担当者	桜井 亮太, 稲垣 誠一							
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	生物統計学は、生物現象の処理に数理統計学を応用し、その機構の解明に役立てるための学問である。その基本的事項について体系的に学習する。主要な統計手法について、統計解析ソフトウェアを用いて実際にデータの解析を行う。							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・因果関係とコントロール(対照)について理解を深める ・疫学研究、臨床試験の代表的なデザインを学ぶ ・医療統計の基礎的な考え方を自分なりに説明できる 							
回数	授業計画(内容)							担当
1	イントロダクション							桜井 亮太
2	疫学研究のデザイン							桜井 亮太
3	臨床試験のデザイン							桜井 亮太
4	暴露効果、治療効果の指標							桜井 亮太
5	統計的仮説検定							稲垣 誠一
6	信頼区間							稲垣 誠一
7	サンプルサイズ							桜井 亮太
8	コホート研究の妥当性							桜井 亮太
9	ケース・コントロール研究の妥当性							桜井 亮太
10	新しい疫学研究デザイン							桜井 亮太
11	交絡1							稲垣 誠一
12	交絡2							稲垣 誠一
13	バイアス1							稲垣 誠一
14	バイアス2							稲垣 誠一
15	総括							桜井 亮太
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学各論	授業形態	講義					
科目担当者	横山和仁、清水沙友里(医療経済研究機構)							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	疫学的測定と関連、交絡因子、媒介変数、相互作用について統計解析ソフトウェアを使い理解すると同時に、疫学研究の強みと限界をどのように識別し、また重要な疫学的課題に関して、科学コミュニティなどへ情報提供をするための疫学手法の利用について学ぶ。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疫学の基本となる概念や用語が正しく解釈できる 2. 疫学的エビデンスを得るための一連の研究方法が理解できる 3. エビデンスを使って、専門職としての実践に役立てることができる 							
回数	授業計画(内容)							担当
1	疫学の意義と歴史							清水沙友里(非常勤)
2	頻度の指標							清水沙友里(非常勤)
3	保健統計							横山和仁
4	疫学研究の種類							横山和仁
5	記述疫学1							清水沙友里(非常勤)
6	記述疫学2							清水沙友里(非常勤)
7	分析疫学1							清水沙友里(非常勤)
8	分析疫学2							清水沙友里(非常勤)
9	分析疫学3							清水沙友里(非常勤)
10	介入研究1							横山和仁
11	介入研究2							横山和仁
12	地域診断1							横山和仁
13	地域診断2							横山和仁
14	保健活動の評価							横山和仁
15	総括							横山和仁
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	臨床疫学概論	授業形態	講義					
科目担当者	山崎 力, 桜井 亮太							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	<p>研究実施にあたり、研究仮説を立て、適切なデザインを構築し、利用可能なデータから意味のある分析結果を出し、臨床的に妥当な解釈を行う。これら一連のプロセスを遂行するために不可欠となる臨床疫学の理論および実践的な方法論を身につける。具体的にはデータの取り扱い、臨床医学的検査の有効性(感度、特異度、事後確率、ROC曲線)、リスク評価、研究デザインとバイアス、統計解析結果の解釈などについて学習する。</p>							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疫学の基本となる概念や用語が正しく解釈できる 2. 疫学的エビデンスを得るための一連の研究方法が理解できる 3. エビデンスを使って、専門職としての実践に役立てることができる 							
回数	授業計画(内容)							担当
1	臨床疫学とは							山崎 力
2	臨床疫学総論							山崎 力
3	正常か異常か							山崎 力
4	診断用検査							山崎 力
5	診断のプロセス、研究計画							山崎 力
6	N-of-1トライアル、頻度、疫学指標							山崎 力
7	統計							山崎 力
8	医学的判断							桜井 亮太
9	研究の批判的吟味							桜井 亮太
10	メタアナリシス							桜井 亮太
11	予後							桜井 亮太
12	治療							桜井 亮太
13	原因							桜井 亮太
14	narrative based medicine							桜井 亮太
15	総括							桜井 亮太
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	臨床疫学各論	授業形態	講義					
科目担当者	山崎 力, 桜井 亮太							
配当年次/期別	2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	臨床疫学は、EBM(Evidence-Based Medicine)の根幹をなすものであり、個々の患者に対する臨床判断に役立てることを目的とし、疫学的手法を用いて、患者集団で生起する事象を科学的に解析・評価する学問領域である。授業ではその基礎となる疫学の基本的な考え方、用語、手法についてわかりやすく解説する。							
授業の到達目標	臨床疫学の概念を説明できる。 罹患率と有病率を説明できる。 臨床疫学の研究デザインを説明できる。							
回数	授業計画(内容)							担当
1	イントロダクション							山崎 力
2	疫学総論1							山崎 力
3	疫学総論2							山崎 力
4	疫学研究の方法1							桜井 亮太
5	疫学研究の方法2							桜井 亮太
6	スクリーニング							桜井 亮太
7	EBM1							桜井 亮太
8	EBM2							桜井 亮太
9	グループワーク1							桜井 亮太
10	グループワーク2							桜井 亮太
11	グループワーク3							桜井 亮太
12	グループワーク4							桜井 亮太
13	グループワーク5							桜井 亮太
14	グループワーク6							桜井 亮太
15	まとめ							桜井 亮太
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	社会行動科学各論			授業形態	講義			
科目担当者	中尾 睦宏、中里 道子、岡 孝和							
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	行動科学理論に基づいた生活習慣の変容、健康増進活動などを導くための基本知識を学習する。また、古典的条件付け、オペラント条件付け、自己効力感、ローカス・オブ・コントロールといった行動科学の概念が健康評価にどのように役立つか討論する。最新の行動医学理論・手法を紹介し、心理社会的ストレスが心身に及ぼす影響について理解できる人材の養成を目指す。							
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主な行動理論について説明することができる。 ・行動理論の応用・適用を考えることができる。 							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	イントロダクション						岡 孝和	
2	ヘルスピリーフモデル						中里 道子	
3	認知行動理論						中尾 睦宏	
4	認知行動療法						中尾 睦宏	
5	ストレスとコーピング						中尾 睦宏	
6	計画的行動理論1						中里 道子	
7	計画的行動理論2						中里 道子	
8	社会的認知理論						中里 道子	
9	メンタルヘルス1						中尾 睦宏	
10	メンタルヘルス2						中尾 睦宏	
11	事例研究1						岡 孝和	
12	事例研究2						中里 道子	
13	事例研究3						岡 孝和	
14	事例研究4						岡 孝和	
15	まとめ						岡 孝和	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	社会医学各論			授業形態	講義			
科目担当者	石川 和信, 赤津 晴子, 和田 耕治							
配当年次/期別	1, 2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	社会医学における、健康・医療に関わる制度・政策、ならびにそれらに貢献・関連する研究、人材育成、その他の専門的活動について学ぶ。							
授業の到達目標	社会医学に係る制度や政策の全貌を多角的把握できるようにする							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	イントロダクション						和田 耕治	
2	健康政策						和田 耕治	
3	医療介護政策						和田 耕治	
4	高齢化と疾病予防						和田 耕治	
5	ヘルスプロモーション						石川 和信	
6	プライマリケア						和田 耕治	
7	メンタルヘルス						和田 耕治	
8	ヘルスコミュニケーション						赤津 晴子	
9	母子保健						和田 耕治	
10	食品保健						和田 耕治	
11	学校保健						和田 耕治	
12	感染症						和田 耕治	
13	医療資源						和田 耕治	
14	地域医療						和田 耕治	
15	総括						和田 耕治	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	産業保健学			授業形態	講義			
科目担当者	和田 耕治							
配当年次/期別	1,2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	公衆衛生活動における産業保健の位置づけを理解し、「作業管理」「作業環境管理」「健康管理」の視点から事業所における“労働と健康の調和”への支援について学習し、自らの“働く意義”を考察する。							
授業の到達目標	職業病や作業関連疾患についての歴史や最近の発展についての基礎的な背景を理解する。 職場におけるリスク評価の基本的考え方を学ぶ。 人間技術にともなう有害因子と環境保健の相互関係についての理解を深める。							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	オリエンテーション						和田 耕治	
2	職業病とは						和田 耕治	
3	職業病の予防策の変遷						和田 耕治	
4	職場におけるリスクアセスメント1						和田 耕治	
5	職場におけるリスクアセスメント2						和田 耕治	
6	科学技術と産業保健						和田 耕治	
7	呼吸器障害、職業性喘息						横山 和仁	
8	石綿肺						横山 和仁	
9	有害化学物質とがん						横山 和仁	
10	精神保健と産業保健1						和田 耕治	
11	精神保健と産業保健2						横山 和仁	
12	精神保健と産業保健3						横山 和仁	
13	医療現場での産業保健						和田 耕治	
14	産業保健専門家1						横山 和仁	
15	産業保健専門家2						横山 和仁	
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:80%、授業参加姿勢:20%							
教科書	特になし							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学・社会医学分野インターンシップ			授業形態	演習			
科目担当者	山崎 力							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	国際機関や海外の提携機関において、インターンとして参加する。							
授業の到達目標								
回数	授業計画(内容)						担当	
1	インターン先の機関にて各種プロジェクトや研究事業に参加する							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	レポート:100%							
教科書	配布資料							
オフィスアワー	授業終了後、随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学・社会医学研究指導I(研究計画作成)			授業形態	演習			
科目担当者	稲垣 誠一, 桜井 亮太, 岡 孝和, 石川 和信, 中里 道子, 赤津 晴子, 中田 光紀, 中尾 睦宏, 和田 耕治, 山崎 力							
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書を作成する							
授業の到達目標	研究の背景を取りまとめ、研究計画書を完成させる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	研究計画書を作成し、指導教員の指導を受けて完成させる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	研究計画書作成のプロセスと内容:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学・社会医学研究指導Ⅱ(文献検索)			授業形態	演習			
科目担当者	稲垣 誠一, 桜井 亮太, 岡 孝和, 石川 和信, 中里 道子, 赤津 晴子, 中田 光紀, 中尾 睦宏, 和田 耕治, 山崎 力							
配当年次/期別	1年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、文献検索を実施する							
授業の到達目標	研究計画書に基づいて文献検索を実施し、その結果を取りまとめる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	文献検索を実施し、その結果を取りまとめる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	文献検索のプロセスと内容:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学・社会医学研究指導Ⅲ(データ収集)			授業形態	演習			
科目担当者	稲垣 誠一, 桜井 亮太, 岡 孝和, 石川 和信, 中里 道子, 赤津 晴子, 中田 光紀, 中尾 睦宏, 和田 耕治, 山崎 力							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、データ収集を実施する。また、中間発表に向けた取りまとめを実施する							
授業の到達目標	研究に必要なデータ収集を実施する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	データ収集の計画を立案し、実際のデータ収集を実施する							
2	中間発表に向けた取りまとめを実施する							
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	データ収集の結果: 100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学・社会医学研究指導Ⅳ(データ分析)			授業形態	演習			
科目担当者	稲垣 誠一, 桜井 亮太, 岡 孝和, 石川 和信, 中里 道子, 赤津 晴子, 中田 光紀, 中尾 睦宏, 和田 耕治, 山崎 力							
配当年次/期別	2年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	研究計画書に基づき、収集したデータを分析する							
授業の到達目標	適切な解析手法を用いてデータ分析を実施する							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	データ解析手法を理解し、実際のデータ分析を実施する							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	データ解析の結果: 100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	疫学・社会医学研究指導V(論文作成)			授業形態	演習			
科目担当者	稲垣 誠一, 桜井 亮太, 岡 孝和, 石川 和信, 中里 道子, 赤津 晴子, 中田 光紀, 中尾 睦宏, 和田 耕治, 山崎 力							
配当年次/期別	2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数	30時間
授業の概要(主題)	修士論文として研究結果を取りまとめる							
授業の到達目標	修士論文を完成させる							
回数	授業計画(内容)						担当	
1	文献検索やデータ解析の結果を論文として取りまとめる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
成績評価の方法	<input type="checkbox"/> 定期試験 <input type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 授業参加姿勢 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 実習評価 <input type="checkbox"/> その他()							
評価の基準	修士論文の提出:100%							
教科書	特に指定しない							
オフィスアワー	随時受け付ける							

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉データサイエンス概論			授業形態	講義		
科目担当者	石川 ベンジャミン光一、篠原 信夫						
配当年次/期別	1年次	前期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	システム科学的なアプローチによる課題解決法およびリアルワールドデータの取得とその分析における方法論および法・倫理面から必要とされる配慮などを理解したうえで、医療福祉領域における問題解決に向けたデータ利用方法に関する知識を身につける。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療福祉領域における大規模データの分析について、例を用いて説明することができる。 2. リアルワールドデータの収集と分析についての知識を身につける。 3. 医療福祉分野の問題解決に向けたデータの利用方法について、例を用いて説明することができる。 						
回数	授業計画(内容)					担当	
1	イントロダクション(4/13-4限)					石川 ベンジャミン光一	
2	医療福祉領域における大規模データ(4/13-5限)					石川 ベンジャミン光一	
3	診療記録と標準マスタ(1)(4/13-6限)					石川 ベンジャミン光一	
4	DPCデータとは(4/20-4限)					石川 ベンジャミン光一	
5	DPCオープンデータ(4/20-5限)					石川 ベンジャミン光一	
6	DPCデータと地域医療分析(4/20-6限)					石川 ベンジャミン光一	
7	NDBデータと電子レセプト(5/11-4限)					石川 ベンジャミン光一	
8	NDBオープンデータ(5/11-5限)					石川 ベンジャミン光一	
9	NDBオープンデータとマーケット分析(5/11-6限)					石川 ベンジャミン光一	
10	病院情報システムと電子カルテ(5/18-4限)					篠原 信夫	
11	診療情報と標準規格(5/18-5限)					篠原 信夫	
12	診療記録と標準マスタ(2)(5/18-6限)					石川 ベンジャミン光一	
13	問題解決に向けたデータの利用(1)(6/1-4限)					石川 ベンジャミン光一	
14	問題解決に向けたデータの利用(2)(6/1-5限)					石川 ベンジャミン光一	
15	まとめ(6/1-6限)					石川 ベンジャミン光一	
成績評価の方法	eラーニングシステム上の確認問題と課題掲示板、レポート						
評価の基準	eラーニングシステム上の確認問題と課題掲示板の内容50%、レポート:50%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						

国際医療福祉大学 医学研究科 公衆衛生学専攻 シラバス

授業科目名	医療福祉データサイエンス各論			授業形態	講義		
科目担当者	石川 ベンジャミン光一、篠原 信夫						
配当年次/期別	1・2年次	後期	必修/選択	選択	単位数	2単位	時間数 30時間
授業の概要(主題)	大規模データ利用における人工知能、クラウド、超並列・リアルタイム処理などのデータ分析手法およびIoT・センサーネットワーク、ソーシャルメディアなどのデータ収集に係る先進的技術について理解したうえで、医療福祉領域における問題解決の事例についての知識を身につける。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模データ利用におけるデータ収集・分析の手法について、例を用いて説明することができる。 2. 患者の背景や診療プロセス、地理データの分析に必要な手法を身につける。 3. データを用いて医療福祉領域の問題を解決に導く方法について、例を用いて説明することができる。 						
回数	授業計画(内容)						担当
1	イントロダクション(10/26-4限)						石川 ベンジャミン光一
2	データサイエンスを支える情報収集技術(10/26-5限)						石川 ベンジャミン光一
3	データサイエンスを支える情報分析技術(10/26-6限)						石川 ベンジャミン光一
4	患者背景の分析(11/9-4限)						石川 ベンジャミン光一
5	診療プロセスの分析(11/9-5限)						石川 ベンジャミン光一
6	薬剤使用データの分析(11/9-6限)						石川 ベンジャミン光一
7	地理データの分析(1)(11/16-4限)						石川 ベンジャミン光一
8	地理データの分析(2)(11/16-5限)						石川 ベンジャミン光一
9	地理データの分析(3)(11/16-6限)						石川 ベンジャミン光一
10	EMRとPHR(11/30-4限)						篠原 信夫
11	ライフデータとソーシャルメディア(11/30-5限)						石川 ベンジャミン光一
12	パーソナルデータの活用(11/30-6限)						石川 ベンジャミン光一
13	ケーススタディ(1)(12/7-4限)						篠原 信夫
14	ケーススタディ(2)(12/7-5限)						石川 ベンジャミン光一
15	まとめ(12/7-6限)						石川 ベンジャミン光一
成績評価の方法	eラーニングシステム上の確認問題と課題掲示板、レポート						
評価の基準	eラーニングシステム上の確認問題と課題掲示板の内容50%、レポート:50%						
教科書	特になし						
オフィスアワー	随時受け付ける						